

## 1. 圏域別観光入込客数の推移

(単位：万人、%)

区分 年度	道 南	道 央	道 北	オホーツク	十 勝	釧路・根室	総 数
30	1,320 ( 9.0 )	8,083 ( 55.4 )	2,286 ( 15.7 )	885 ( 6.1 )	1,033 ( 7.1 )	982 ( 6.7 )	14,588 ( 100.0 )
元	1,322 ( 9.2 )	7,894 ( 54.9 )	2,259 ( 15.7 )	875 ( 6.1 )	1,026 ( 7.1 )	1,012 ( 7.0 )	14,389 ( 100.0 )
2	794 ( 9.8 )	4,272 ( 52.7 )	1,219 ( 15.0 )	578 ( 7.1 )	707 ( 8.7 )	537 ( 6.6 )	8,106 ( 100.0 )
3	876 ( 10.3 )	4,533 ( 53.1 )	1,242 ( 14.6 )	603 ( 7.1 )	711 ( 8.3 )	565 ( 6.6 )	8,531 ( 100.0 )
4	1,136 ( 9.3 )	6,622 ( 54.0 )	1,913 ( 15.6 )	808 ( 6.6 )	1,029 ( 8.4 )	749 ( 6.1 )	12,258 ( 100.0 )
5	1,296 ( 8.9 )	8,232 ( 56.3 )	2,203 ( 15.1 )	871 ( 6.0 )	1,145 ( 7.8 )	873 ( 6.0 )	14,619 ( 100.0 )

- (注) 1. 北海道「北海道観光入込客数調査報告書」による  
 2. ( )内は構成比を示す  
 3. 各数値は千人単位で四捨五入しているため合計が合致しない場合がある  
 4. 各地域は次のとおり

## 〔道 南 圏〕

大沼国定公園、恵山、松前矢越、檜山、狩場茂津多の4つの道立自然公園を有し、函館等の市を含めた渡島総合振興局、檜山振興局管内

## 〔道 央 圏〕

支笏洞爺国立公園、ニセコ積丹小樽海岸国定公園、日高山脈襟裳十勝国立公園、暑寒別天売焼尻国定公園、野幌森林公園、狩場茂津多、富良野芦別の3つの道立自然公園を有し、札幌等の市を含めた後志総合振興局、胆振総合振興局、石狩振興局、空知総合振興局、日高振興局管内

## 〔道 北 圏〕

大雪山国立公園、利尻礼文サロベツ国立公園、暑寒別天売焼尻国定公園、富良野芦別、北オホーツク、朱鞠内、天塩岳の4つの道立自然公園を有し、旭川、稚内等の市を含めた上川総合振興局、留萌振興局、宗谷総合振興局管内

## 〔オホーツク圏〕

知床国立公園、阿寒摩周国立公園、網走国定公園、斜里岳、天塩岳の2つの道立自然公園を有し、網走、北見等の市を含めたオホーツク総合振興局管内

## 〔十 勝 圏〕

大雪山国立公園、阿寒摩周国立公園、日高山脈襟裳十勝国立公園を有し、帯広市を含めた十勝総合振興局管内

## 〔釧路・根室圏〕

阿寒摩周国立公園、知床国立公園、釧路湿原国立公園、厚岸霧多布昆布森国定公園、野付風蓮道立自然公園を有し、釧路等の市を含めた釧路総合振興局、根室振興局管内

## 2. 道内の宿泊者数の推移

(単位：千人)

区分	5				
	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	総数
延べ宿泊者数	8,831	9,136	12,592	9,076	39,635
うち外国人延べ宿泊者数	1,874	1,227	1,817	2,214	7,132
国籍(出身地)別外国人延べ宿泊者数(上位10位)					
韓国	392	223	491	388	1,494
台湾	343	272	367	374	1,356
香港	166	115	153	168	603
中国	75	51	117	178	422
シンガポール	65	98	61	178	402
タイ	137	42	27	139	346
アメリカ	74	56	57	67	254
マレーシア	47	26	20	79	172
オーストラリア	89	20	15	46	170
インドネシア	21	17	5	47	90

- (注) 1. 観光庁「令和5年宿泊旅行統計調査報告(確定値)」による  
 2. 宿泊旅行統計調査は平成19年から開始  
 3. 千人未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合がある

## 3. 来道者輸送実績の推移

(単位：千人、%)

区 分		年 度					
		30	元	2	3	4	5
総	数	13,546	13,267	4,615	6,376	11,361	13,618
	前年度対比	98.3%	97.9%	34.8%	138.1%	178.2%	119.9%
交	鉄 道	845	820	285	320	580	803
	前年度対比	92.0%	97.0%	34.7%	112.2%	181.5%	138.5%
通	構 成 比	6.2%	6.2%	6.2%	5.0%	5.1%	5.9%
	航 空 機	11,802	11,510	3,819	5,478	10,006	11,924
機	前年度対比	98.6%	97.5%	33.2%	143.4%	182.7%	119.2%
	構 成 比	87.1%	86.8%	82.7%	85.9%	88.1%	87.6%
別	フェリー	900	936	512	579	775	890
	前年度対比	100.5%	104.1%	54.7%	113.1%	134.0%	114.8%
	構 成 比	6.6%	7.1%	11.1%	9.1%	6.8%	6.5%

- (注) 1. 北海道庁経済部資料「令和5年度来道者輸送実績」による  
2. 千人未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合がある  
3. 構成比は人単位で計算  
4. 令和5年度の実績は速報値

## 4. 道内の国際観光ホテル整備法登録ホテル及び登録旅館の推移

区分 年度	登録ホテル			登録旅館		
	ホテル数	総客室数 (基準客室数(洋室))	総収容 人員	旅館数	総客室数 (基準客室数(和室))	総収容 人員
29	66	11,878 (11,304)	21,945	74	11,426 (8,691)	48,886
30	67	12,035 (11,400)	22,397	72	11,266 (8,566)	48,317
元	66	11,796 (11,168)	22,514	72	11,264 (8,560)	48,353
2	66	11,831 (11,223)	23,008	71	11,176 (8,500)	47,974
3	65	11,525 (10,924)	22,393	70	11,113 (8,445)	47,673
4	63	11,351 (10,774)	22,147	70	11,110 (8,431)	47,504
5	63	11,208 (10,651)	22,425	69	10,424 (7,850)	44,055

- (注)
1. 北海道運輸局資料「令和6年3月末時点ホテル整備法登録施設DB」による
  2. ホテルにおける洋室の収容人員は、その寝台の定員による
  3. 旅館における和室の収容人員は、主室の部分が10㎡(約7畳)以下の場合は1名、それを超える場合は2名とする(ただし、平成5.4.1以降は9.3㎡)。また、和洋折衷の客室の収容人員は、洋室部分の収容人員と畳敷きの部分の収容人員(算定方法は和室と同じ)を合計したものによる
  4. 基準客室数( )内は、内数

## 5. 住宅宿泊事業(民泊)の推移

(単位:件)

区分 年度	北海道	札幌市
	施設数	施設数
元	619	2359
2	599	1622
3	605	1,348
4	665	1,293
5	803	1,582

- (注) 北海道・札幌市資料(令和6年3月末時点)による

## 6. 観光地域づくり法人(DMO)の推移

(単位:件)

区分 年度	登録観光地域づくり法人(登録DMO)			観光地域づくり候補法人(候補DMO)		
	広域連携DMO	地域連携DMO	地域DMO	広域連携DMO	地域連携DMO	地域DMO
元	1	6	6	0	3	8
2	1	7	7	0	2	8
3	1	7	10	0	2	5
4	1	7	12	0	1	4
5	1	8	14	0	0	3

(注) 1. 観光庁資料『【参考】「登録DMO」登録一覧(令和6年3月29日時点)及び  
【参考】「候補DMO」登録一覧(令和6年3月29日時点)』による